

# 学校生活を応援します

## 特別支援教育

「特別支援教育」は、勉強や友達のことなどで困っている子どもたち一人一人に適切な支援をする取り組みです。

春は、入学や進学のと時期です。今から楽しみで、わくわくしている子もいれば、分らないことばかりで、不安でいっぱいの子もいるでしょう。

保護者の皆さんも、子どもたちと一緒にしないでしようか。

「みんなのペースについていけないなあ」「友達と仲良くやっていけないなあ」「いろいろ考え始めると、心配なこともありますね。」

子どもたち一人一人の「いいところ」を大事に伸ばして、自信を持って学校生活を送れるよう、松前町は特別支援教育に取り組んでいます。

### 1 幼稚園、保育所、小・中学校で行う「巡回相談」で見守る

町立幼稚園や町内保育所で行っている「巡回相談」では、保健センター、子育て支援センター、小学校なども加わり、アドバイザーを中心に連携し、スムーズに就学できるよう支援しています。

この「巡回相談」では、それぞれの立場から意見を出し合い、「困っている」サインを発信している子どもたちへの支援方法を相談しています。

巡回相談は、町立小・中学校でも実施しており、幼



小学校での巡回相談

### 2 「就学支援シート」で小学校生活を安心してスタート

小学校入学にあたっては、「いろいろ聞きたいことがあるけれど、何をどこまで話せばいいのか」「小学校へ連絡したいけれど結局できない」ということがあると思います。

そこで、松前町特別支援連携協議会は、「就学支援シート」の活用に取り組ん

### 3 不安なときは、「特別支援教育コーディネーター」にぜひ相談を

子どもの学習や行動面に対して、どう関わればよいか迷うときは、町立幼稚園、小・中学校、県立高等学校に「特別支援教育コーディネーター」に相談してください。

## 全ての子どもの育ちを支える特別支援教育

愛媛大学教育学部 吉松 靖文 准教授



子どもの勉強、友達関係、言葉や体の成長など、気になることはありませんか。乳幼児期であれば、「言葉が遅い」「外出すると迷子になる」「いうことを聞かない」、学校期であれば、「勉強が苦手」「友達と上手い合わない」「学校に行きたがらない」「よくない人とつきあいがあ

らしい」など、子どもを育てていると、気になることがあるものですね。

このような子どもの育ちや行動には、全て意味や原因があります。例えば、他の子と上手く遊べない子の中には、自分の興味や関心がはっきりしているために、他の子の遊びに興味を持つことができないことがあります。そんな子どもに周りの子と仲良くさせようとしても上手いきません。むしろ、本人の大好きな世界を周りの子どもに知らせていくことが、自然と子どもの人間関係を広げるだけでなく、興味・関心が文字などの知的な発達にいい影響を与えることも期待できます。気になる子どものマイナス面こそ、重要な強さ・プラス面・才能かもしれ

### 入学や進学に向けてのポイント

- ◆ 小学校
  - ◆ 「早寝・早起き・朝ごはん」生活リズムを整えましょう。
  - ◆ 自分の名前や「はい」「いいえ」が元気に言えるといいですね。
  - ◆ 通学路を一緒に歩いて確認しましょう。
  - ◆ 「早く学校に行きたいな」という気持ちを大切にしましょう。
  - ◆ 「〇〇できないと、1年生になれないよ。先生にしかられるよ」というようなマイナスイメージを持たせないようにしましょう。
- ◆ 中学校
  - ◆ 「教科担任制」となり、各教科ごとに先生が変わります。
  - ◆ 部活動が始まります。家庭でもよく相談してください。
  - ◆ 集団登校ではありません。どのくらい時間がかかるか通学路を確認しましょう。
  - ◆ 各校の服装や頭髪などの決まりを知って、身だしなみを整えましょう。

問 学校教育課

☎ 985-4134